

目次／デスクトップ
スイートの特徴

ご使用前の準備

デスクトップスイート
の操作

索引

FOMA M1000

デスクトップスイート取扱説明書 '05.11

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書を
よくお読みいただき、正しくお使いください。

商標について

- 「FOMA／フォーマ」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- MOTOROLAおよび“Mロゴ”は米国特許商標庁に登録された商標です。(C) Motorola, Inc. 2005.
- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, inc. and any use of such marks by NTT DoCoMo, Inc. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners. (Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。)
- TransFlash™はSanDisk Corporationの登録商標です。
- Microsoft、MS、Windows、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows XP SP2は、Microsoft® Windows® XP Service Pack2の略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION の略です。
- Windows XP、2000、Me、98SE、98のように併記する場合があります。
- Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。
- LotusおよびLotus NotesはIBMの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

取扱説明書(本書)のご使用にあたって

次の方法で知りたい内容を探すことができます。

- 目次から引く
操作したい機能を選んで引きます。→P3
- 索引から引く
機能名を選んで引きます。→P63
- 章扉から引く
タイトルを選んで引きます。
- 表紙やインデックスから引く
機能名やタイトルを選んで引きます。

- この「デスクトップスイート取扱説明書」の本文中においては、「FOMA M1000」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の構成

■ご使用前の準備

デスクトップスイートをお使いになる前の準備として、FOMA 端末とパソコンとの接続や、デスクトップスイートのインストールについて記載しています。

■デスクトップスイートの操作

デスクトップスイートの操作方法について記載しています。

目次

Contents

商標について	表紙裏
取扱説明書（本書）のご使用にあたって	表紙裏
本書の構成	1
本書の見かた	2
デスクトップスイートの特徴	4

ご使用前の準備..... 5

- ・動作環境の確認
- ・インストールする
- ・アンインストールする
- ・パソコンと接続する

デスクトップスイートの操作..... 23

- ・デスクトップスイートを起動／終了する
- ・FOMA端末のファイルをバックアップする
- ・FOMA端末のファイルを復元する
- ・FOMA端末とパソコンのファイルを同期する
- ・FOMA端末にアプリケーションをインストールする
- ・ファイルブラウザを利用する
- ・その他の設定を行う

索引..... 63

デスクトップスイートの特徴

デスクトップスイートとは、電話帳やスケジュール、ToDoリスト、Eメールなどのデータを、FOMA 端末とUSB接続ケーブル（同梱品）またはBluetooth経由で接続したパソコンとの間で転送／同期するためのソフトです。また、データの転送・同期以外にも、FOMA 端末へのアプリケーションやファイルのインストール・転送が行えます。

■バックアップ

情報の消去や破損に備え、端末をバックアップして保存された情報を保護できます。
→P26

■復元

あらかじめ作成しておいたバックアップを使って、データを以前の状態に戻すことができます。
→P33

■同期

FOMA 端末用のアプリケーションとパソコン用のアプリケーションとの同期が行えます。
→P35

■インストール

パソコン上からFOMA 端末へアプリケーションをインストールできます。→P50

■ファイルブラウザ

パソコンとFOMA 端末との間ですばやく簡単に情報を共有・管理できます。→P56

ご使用前の準備

動作環境の確認	6
インストールする	7
アンインストールする	10
パソコンと接続する	11

動作環境の確認

デスクトップスイートは、次の動作環境でご利用ください。

項目	必要環境
OS	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98SE の各日本語に対応
CPU	Pentium II プロセッサ300MHz以上の性能を持つプロセッサを推奨
必要メモリ [※]	128MB 以上
ハードディスクの空き容量 [※]	30MB 以上
ディスプレイ	High Color (16bit) 以上推奨
インターフェース	USBポートまたはBluetooth (要シリアルポートプロファイル)

※：システム環境によっては、必要メモリやハードディスクの空き容量が異なる場合があります。

お知らせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お使いのパソコンに搭載の、または外付けのBluetoothデバイスによっては、デスクトップスイートとの接続に利用できない場合があります。
- お使いのUSBハブによっては、デスクトップスイートとの接続に利用できない場合があります。

ご使用にあたって

<免責事項>

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、本取扱説明書、またはデスクトップスイートのヘルプをご覧ください。

デスクトップスイートに関するお問い合わせ
 モトローラ株式会社 カスタマーホットライン **0120-227-217**
 ※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
 受付時間：平日9:00～18:00（土日祝日除く）

<ダウンロードURL>

デスクトップスイートは、次のURLからダウンロードできます。
<http://motorola.jp/hellomoto/M1000/flash/manual.htm>

インストールする

デスクトップスイートをパソコンにインストールします。

- Windows XP、Windows 2000でデスクトップスイートのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- デスクトップスイートのインストールは、FOMA端末とパソコンを接続しない状態で行ってください。
- デスクトップスイートをインストールすると、Windowsの起動時にデスクトップスイートとmRouterが自動的に起動するようになります。

<例：Windows XPでインストールするとき>

1 添付のFOMA M1000 用CD-ROM1 をパソコンにセットする

2 「Start.exe」をダブルクリックする

■Start.exeが表示されないとき

- ①「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」を順にクリックする
- ②「名前」欄に「[CD-ROMドライブ名]: ¥Start.exe」と入力し、[OK] をクリックする

3 M1000 ユーティリティソフトの言語選択画面で利用する言語をクリック▶ソフトウェア使用許諾条件画面で内容を確認▶[同意する] をクリックする

4 「PC ソフトウェア」▶「Motorola Desktop Suite」を順にクリックする



5 [次へ]をクリックし、使用許諾契約画面で内容を確認▶「使用許諾契約の全条項に同意します」▶[次へ]を順にクリックする



- インストールを始める前に、現在使用中または常駐している他のプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、[キャンセル] をクリックしてインストールを中止して使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。

6 [インストール]をクリックする



インストールが開始されます。

- デスクトップにはショートカットが自動的に作成されます。

7 完了画面で[完了]をクリックし、再起動の確認画面で「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」▶[完了]を順にクリックする

パソコンが再起動されます。

■デスクトップのショートカットについて

デスクトップスイートがパソコンにインストールされると、デスクトップには次のショートカットが作成されます。

ショートカット名	説明
Motorola Desktop Suite	パソコンのデスクトップスイートを起動します。
FOMA端末の本体メモリへのショートカット	FOMA端末本体に保存されているデータ／ファイルやアプリケーションの状態を確認できます。ドラッグ&ドロップでパソコンとFOMA端末間で簡単にデータ／ファイルのコピーができます。また、FOMA端末に保存されているデータ／ファイルを削除できます。
FOMA端末の外部メモリへのショートカット	TransFlashメモ리카ードに保存されているデータ／ファイルやアプリケーションの状態を確認できます。ドラッグ&ドロップでパソコンとTransFlashメモ리카ード間で簡単にデータ／ファイルのコピーができます。また、TransFlashメモ리카ードに保存されているデータ／ファイルを削除できます。

- FOMA 端末へのデータ／ファイルのコピーを行う場合、またはFOMA 端末のデータ／ファイルを削除する場合は、「C:¥documents¥media files」内のフォルダを指定して行ってください。それ以外のフォルダを指定してデータ／ファイルのコピーや削除を行うと、FOMA 端末の故障などの不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。→P57

■mRouterについて

パソコンにデスクトップスイートをインストールすると、USB 接続ケーブルまたはBluetooth 経由で本FOMA 端末とパソコンの接続をコントロールするための「mRouter」が同時にインストールされます。mRouterがインストールされると、パソコン画面のタスクトレイにmRouterアイコン()が表示されます。

- デスクトップスイートを利用して本FOMA 端末とパソコンを接続中は、mRouterアイコンが  のように表示されます。
- デスクトップスイートを操作してもmRouterアイコンが  のままで接続が確立できない場合は、パソコンのタスクトレイのmRouterアイコンをダブルクリックしてmRouterのプロパティ画面を表示し、現在利用中の接続方法の をクリックして有効 () に設定してから接続を確立させてください。
- ダイヤルアップ接続を利用する際は、mRouterアイコン () をダブルクリックしてmRouterのプロパティ画面を表示し、USB接続する場合は「USB」、Bluetooth接続の場合は「Bluetooth」の をクリックして無効 () に設定してから操作してください。

お知らせ

- セットアップの途中で [キャンセル] や [いいえ] をクリックし、先へ進まない命令を出した場合、中止の確認画面が表示されます。[はい] をクリックし、完了画面で [完了] をクリックしてインストールを終了してください。再度インストールする場合は、インストールの操作を最初からやり直してください。
- デスクトップスイートをパソコンにインストールすると、mRouter とともに、FOMA 端末とパソコンとの通信やデータ転送をコントロールするためのSymbian接続ランタイムが同時にインストールされます。
- デスクトップスイートでのデータ転送はTCP/IPを利用するため、ファイアウォール機能などのセキュリティプログラムを搭載するパソコンをご利用の場合はセキュリティ警告が表示され、FOMA 端末とパソコンのデスクトップスイート間の通信が許可されないことがあります。その場合は、mRouterやmRouterランタイムプログラム関連の通信を許可するように設定してください。

アンインストールする

デスクトップスイートをパソコンからアンインストールします。

- Windows XP、Windows 2000で「デスクトップスイート」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- アンインストールする前に、デスクトップスイートを終了させてください。
- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

< Windows XPでアンインストールするとき >

1 Windowsの「アプリケーションの追加と削除」を起動する

■ Windows XPのとき

「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックする

■ Windows 2000、Windows Me、Windows 98SEのとき

「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」▶「アプリケーションの追加と削除」を順にクリックする

Windows Me、Windows 98SEの場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

2 「Motorola Desktop Suite」を選択▶「変更と削除」をクリックする



3 「はい」をクリックし、再起動の確認画面で「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」▶「完了」を順にクリックする



パソコンが再起動されます。

お知らせ

- デスクトップスイートをパソコンからアンインストールすると、mRouter と Symbian 接続ランタイムも同時にアンインストールされ、デスクトップからショートカットが自動的に削除されます。
- デスクトップスイートをアンインストールしても、M1000 通信設定ファイル (ドライバ) は削除されません。削除を行う場合には、「通信設定ファイル (ドライバ) のアンインストール」(→P15) を参照して通信設定ファイル (ドライバ) のアンインストールを行ってください。

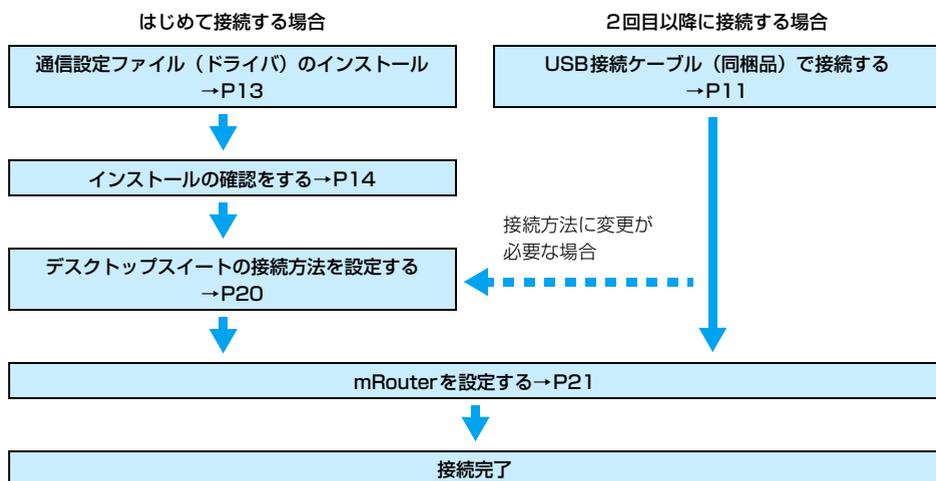
パソコンと接続する

デスクトップスイートを使うには、事前にFOMA端末とパソコンを接続しておく必要があります。FOMA端末とパソコンを接続する方法には、USB接続とBluetooth接続の2つがあります。

USB接続の場合

USB接続の手順を確認する

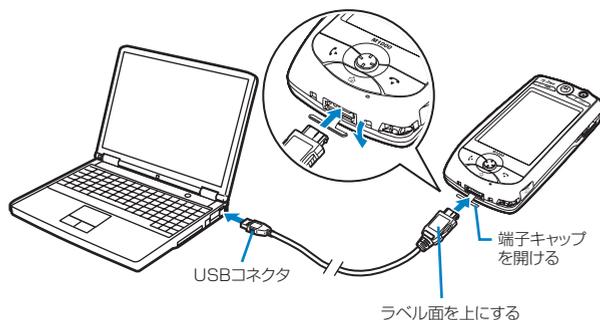
USB接続でデスクトップスイートを使う場合の手順は次のようになります。



USB接続ケーブル（同梱品）で接続する

USB接続ケーブル（同梱品）でFOMA端末をパソコンと接続します。

- はじめて接続する場合には、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要です。→P13



1 FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 USB 接続ケーブル(同梱品)のUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する

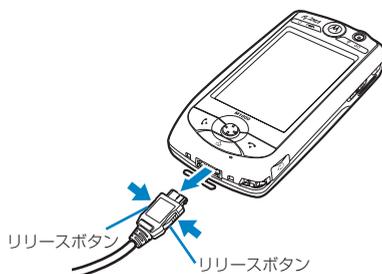
3 FOMA 端末の外部接続端子の向きを確認して、USB 接続ケーブル(同梱品)の外部接続コネクタをまっすぐ差し込む

USB 接続ケーブル(同梱品)を接続するとFOMA 端末に「USBケーブルが接続されました」と表示されます。

※ 通信中に接続したときは表示されない場合があります。

■取り外しかた

① USB接続ケーブル(同梱品)の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く



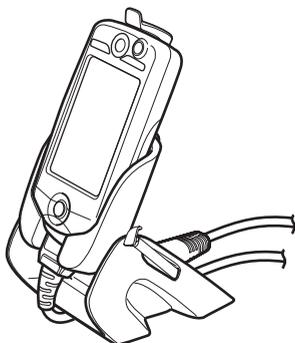
② パソコンからUSB接続ケーブル(同梱品)を引き抜く

お知らせ

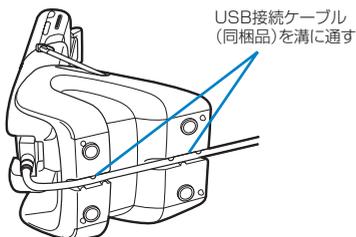
- はじめてFOMA 端末とパソコンを接続する場合には、接続する前にFOMA M1000用CD-ROM1をパソコンにセットしてください。
- パソコンとの接続には、USB接続ケーブル(同梱品)または別売りのFOMA USB接続ケーブルをご利用ください。どちらのケーブルを利用する場合も接続方法や手順に違いはありません。なお、市販のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB接続ケーブル(同梱品)のコネクタは無理に差し込まないでください。各コネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- FOMA 端末が接続されたままUSB接続ケーブル(同梱品)をパソコンから取り外し、短時間内に再び接続すると、FOMA 端末がパソコンから正しく認識されない場合があります。パソコンとFOMA 端末の取り外し/接続は、必ず手順を守り、短時間内に行わないようにしてください。

■ 卓上ホルダと組み合わせてデータ通信をするとき

- 卓上ホルダへの取り付けかた／取り外しかたについてはM1000取扱説明書P58をご覧ください。
- 卓上ホルダと組み合わせて通信を行う場合は、USB 接続ケーブル（同梱品）を接続するために背面板を上への位置に調節してください。詳しくはM1000取扱説明書P59をご覧ください。



- USB 接続ケーブル（同梱品）を接続する場合は、卓上ホルダに取り付ける前に FOMA 端末に接続し、卓上ホルダ底面の溝に通してご使用ください。



通信設定ファイル（ドライバ）のインストール

USB接続ケーブル（同梱品）でパソコンと接続して通信する場合は、次の手順に従ってM1000通信設定ファイルをインストールしてください。

- はじめてFOMA端末とパソコンを接続する場合には、接続する前にFOMA M1000用CD-ROM1をパソコンにセットしてください。
- M1000通信設定ファイルのインストールの途中でパソコンからUSB接続ケーブル（同梱品）を抜いたときや、[キャンセル] をクリックしてインストールを中止した場合は、M1000通信設定ファイルが正常にインストールできなくなることがあります。このような場合には、アンインストール（→P15）の手順に従ってM1000通信設定ファイルをいったん削除してから、再度インストールしてください。
- Windows XPまたはWindows 2000でM1000通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

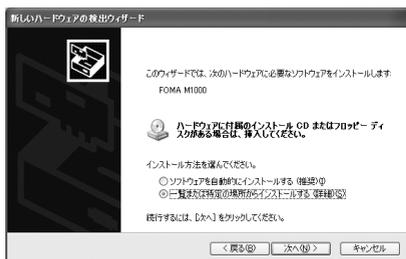
<例：Windows XPでインストールするとき>

1 FOMA M1000用CD-ROM1をパソコンにセットする

2 FOMA 端末とパソコンを接続する

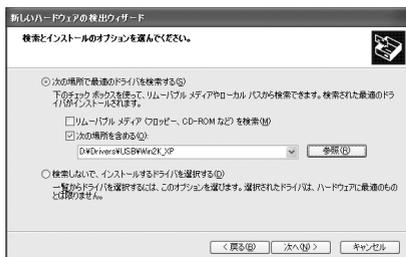
- 接続方法→P11

3 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、[次へ]をクリックする



4 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択して「次の場所を含める」をチェックし、[参照]をクリックして「<ドライブ名>:¥ Drivers¥USB¥Win2K_XP」を指定して[次へ]をクリックする

- 「リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索」のチェックは外します。



M1000通信設定ファイルのインストールが開始されます。

■「Windows XPとの互換性を検証するWindows ログテストに合格していません。」の旨のメッセージが表示された場合

[続行] をクリックしてインストールを行う

インストールされたM1000通信設定ファイルは、Windows ログテストに合格したソフトウェアと変わらない動作を行います。

5 [完了]をクリックする

続けて「インストールの確認をする」(→P14)に進みます。

インストールの確認をする

USB接続で通信する場合は、M1000通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

1 Windows の「コントロールパネル」を起動する

■Windows XPの場合

「スタート」▶「コントロールパネル」を順にクリックする

■Windows 2000、Windows Me、Windows 98SEの場合

「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を順にクリックする

2 「コントロールパネル」の「システム」を起動する

■Windows XPの場合

「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

■Windows Meの場合

「コントロールパネル」に「システム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックする

3 デバイスマネージャを起動する

■Windows XP、Windows 2000の場合

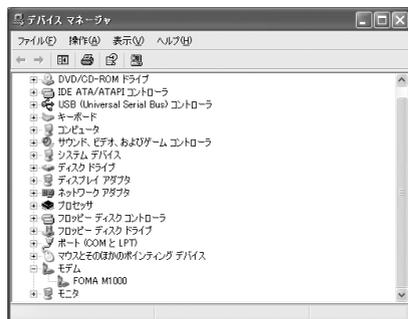
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

■Windows Me、Windows 98SEの場合

「デバイスマネージャ」タブをクリックする

4 「モデム」をクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「モデム」の下にドライバ名（FOMA M1000）が表示されていることを確認します。



Windows XPの「デバイスマネージャ」画面例

デバイス名	ドライバ名
モデム	FOMA M1000

お知らせ

- 「デバイスマネージャ」画面を確認したときにドライバ名が表示されない場合は、アンインストールの手順に従ってM1000通信設定ファイルをいったん削除してから、再度インストールしてください。
 - Bluetooth接続で通信する場合、インストールされるモデム（ドライバ）の詳細については、ご利用になるBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- また、お問い合わせにつきましては、Bluetooth機器指定のモデム（ドライバ）をご利用になる場合はBluetooth機器メーカーに、Windowsに添付の「Bluetoothリンク経由標準モデム」などをご利用になる場合は各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストール

通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストールが必要な場合は、次の手順で行ってください。

1 FOMA 端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P11

2 P14の「インストールの確認をする」の操作を行う

3 ドライバを削除する

■ Windows XP、Windows 2000の場合

- ① ドライバ名 (FOMA M1000) をダブルクリックする
「FOMA M1000のプロパティ」画面が表示されます。
- ② 「ドライバ」タブをクリックし、**【削除】** をクリックする



- ③ **【OK】** をクリックする



ドライバがアンインストールされます。

■ Windows Me、Windows 98SEの場合

- ① ドライバ名 (FOMA M1000) を選択 ▶ **【削除】** をクリックする



② [OK] をクリックする

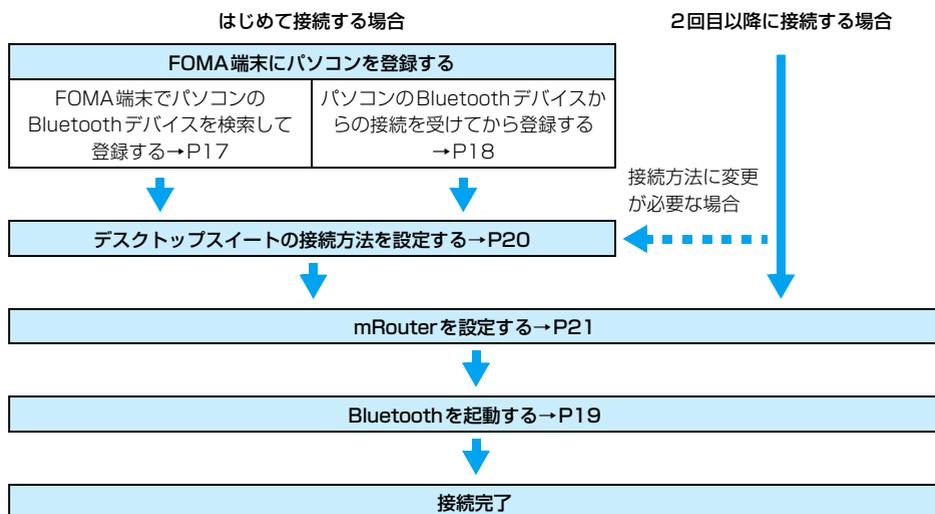


ドライバがアンインストールされます。

Bluetooth接続の場合

Bluetooth接続の手順を確認する

Bluetooth接続でデスクトップスイートを使う場合の手順は次のようになります。



FOMA 端末にパソコンを登録する

FOMA 端末にパソコンのBluetooth デバイスを登録しておく、次回からパスキーを入力せずにデータの送受信ができるようになります。登録方法には、FOMA 端末でパソコンのBluetooth デバイスを検索して登録する方法と、パソコンのBluetooth デバイスからの接続を受けてから登録する方法があります。

- Bluetooth 接続で通信する場合、使用するモデム（ドライバ）の情報は「デバイスマネージャ」画面で確認できます。→P15
- 無線 LAN 接続をご利用の場合には、切断してから操作してください。無線 LAN の切断方法については、M1000 取扱説明書 P434 をご覧ください。

■ FOMA 端末でパソコンの Bluetooth デバイスを検索して登録する場合

1 パソコンの Bluetooth デバイスを検索待ち状態にする

- パソコンの Bluetooth デバイスを検索待ち状態にする設定方法やパスキーについては、パソコンまたは Bluetooth デバイスの取扱説明書をご覧ください。

- 2 アプリケーション選択バーの  (アプリケーションランチャー)
 - ▶  (コントロールパネル)を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「Bluetooth」を順にタップする
- 3 Bluetooth設定画面で「機器」タブをタップする



4 「追加」をタップする



Bluetooth対応機器の検索が開始され、接続可能な機器名称が表示されます。

-  : 携帯電話
-  : ヘッドセット
-  : パソコン
-  : PDA
-  : カーナビゲーション
-  : その他の機器

- 「更新」をタップすると、接続可能な機器が再検索されます。

5 接続する機器名称をタップし、暗号化通信画面でパスキーを入力▶「完了」をタップする

- 半角で16文字まで入力できます。

6 パソコンのBluetoothデバイスでも同じパスキーを入力する

新しいBluetooth機器が登録されます。

お知らせ

- 「Bluetooth ON」が の状態でBluetooth対応機器を検索する場合、検索を開始すると、自動的にBluetoothが起動（「Bluetooth ON」が のときと同じ状態）してステータスバーの  (グレー) が  (白) になります。ただし、ステータスバーのBluetoothマークをタップして表示される「Bluetooth ON」は、 のままになっていますのでご注意ください。

■パソコンのBluetoothデバイスからの接続を受けてから登録する場合

- 受信設定を「常に受信」または「受信時確認」に設定します。Bluetoothの設定については、M1000取扱説明書P506をご覧ください。

1 ステータスバーの (グレー)をタップする

- 「キャンセル」をタップすると操作を中止できます。

- 2 「Bluetooth ON」の ▶ 「他機器に表示」の「 はい」／「 10分間」
▶ [決定] を順にタップする
 が に変わり、Bluetoothが起動します。
- 3 パソコンのBluetoothデバイスで接続操作とパスキーの設定を行う
 ・ パスキーは半角で16文字まで入力できます。
- 4 パソコンのBluetoothデバイスで設定したパスキーと同じパスキーを入力▶ [完了] をタップする

Bluetoothを起動する

Bluetooth機能をONに設定します。

- ・ 無線LAN接続をご利用の場合には、切断してから操作してください。無線LANの切断方法については、M1000取扱説明書P434をご覧ください。

1 ステータスバーの (グレー) をタップする



- ・ [キャンセル] をタップすると操作を中止できます。

2 「Bluetooth ON」の ▶ [決定] を順にタップする

が に変わり、Bluetoothが起動します。

- ・ Bluetoothを終了する場合は、「Bluetooth」の ▶ [決定] を順にタップします。

お知らせ

- ・ Bluetoothの接続状態は、ステータスバーに表示されるアイコンで確認できます。タップすると、BluetoothのON/OFF設定画面が表示されます。

	：	BluetoothがON
	：	BluetoothがOFF
	：	Bluetooth機器に接続中

デスクトップスイートの接続方法を設定する

デスクトップスイートで接続するときの接続方法（USB接続／Bluetooth接続）について設定します。

- 1 アプリケーション選択バーの  (アプリケーションランチャー)
▶  (コントロールパネル) を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「Desktop Suite」を順にタップする



接続方法がUSBのとき

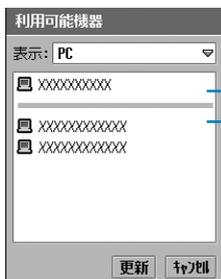


接続方法がBluetoothのとき

- 2 「接続方法」欄をタップし、接続方法を選択▶[完了]をタップする

■接続方法をBluetoothにしたときの優先機器を変更する

- ① Desktop Suite画面で [変更] をタップする



登録されているBluetooth対応機器の名称が表示されます。

検索された機器が表示されます。

表示 : 表示する Bluetooth 機器を種類別に表示する場合にタップして選択します。

- [更新] をタップすると、接続可能機器を再検索します。
→P18
- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

- ② 設定する機器をタップする

お知らせ

- 「Bluetooth ON」が の状態で優先機器を変更しようとする場合、[変更] をタップすると Bluetooth OFF画面が表示され、[はい] をタップするとBluetoothが起動（「Bluetooth ON」が のときと同じ状態）してステータスバーの  (グレー) が  (白) になります。ただし、ステータスバーの Bluetooth マークをタップして表示される「Bluetooth ON」は、 のままになっていますのでご注意ください。

mRouterを設定する

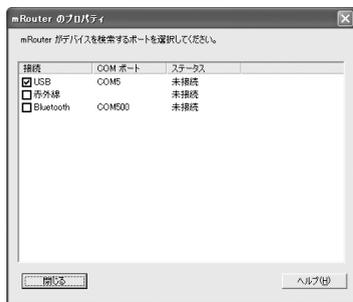
デスクトップスイートを使ってFOMA端末とパソコンを接続するには、事前にmRouterで接続方法を設定しておきます。

1 パソコンのタスクトレイにあるmRouterアイコン()をダブルクリックする



mRouterアイコン

2 USB接続する場合は「USB」、Bluetooth接続する場合は「Bluetooth」をチェックする



お知らせ

- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし、再度インストールしてください。アンインストール方法については、P15を参照してください。

デスクトップスイートの操作

デスクトップスイートを起動／終了する	24
FOMA 端末のファイルをバックアップする	26
FOMA 端末のファイルを復元する	33
FOMA 端末とパソコンのファイルを同期する	35
FOMA 端末にアプリケーションをインストールする	50
ファイルブラウザを利用する	56
その他の設定を行う	61

デスクトップスイートを起動／終了する

デスクトップスイートを使用する準備を行い、FOMA端末とパソコンを接続すると、デスクトップスイートが使用できるようになります。ここではデスクトップスイートの起動と終了の方法について説明します。

- あらかじめデスクトップスイートをパソコンにインストールしてください。→P7
- USB接続の場合には、操作を行う前にFOMA端末とパソコンを接続してください。→P11
- Bluetooth接続の場合には、操作を行う前にあらかじめ接続先のパソコンを登録し、Bluetoothを起動してください。→P17、P19

起動する

デスクトップスイートの起動は、次の手順で行います。

- 1 アプリケーション選択バーの  (アプリケーションランチャー)
▶  (Desktop Suite)を順にタップする
- 2 [接続]をタップする



USB接続の場合



Bluetooth接続の場合

FOMA端末とパソコンが接続されます。

- FOMA端末とパソコンの接続が確立されると、パソコン画面のタスクトレイのmRouterアイコン () が  に変わります。mRouterアイコンが  のままの場合は接続が確立されていないため、mRouterで接続操作を行ってください。→P21
- 表示が [接続] から [切断] に変わり、画面上部に青い矢印が表示されます。
- Bluetooth接続の場合、「Bluetooth接続」というメッセージが表示され、 (緑) に変わります。

3 パソコン画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」(Windows XP 以外の OS は「プログラム」)▶「Motorola Desktop Suite」を順に選択して「Motorola Desktop Suite」をクリックする



これでデスクトップスイートが使用できるようになります。

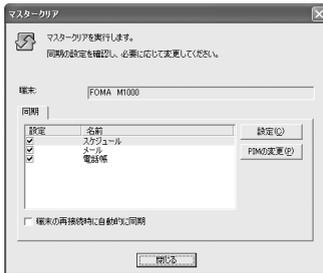
- 通常、デスクトップスイートは Windows が起動すると自動的に起動します。デスクトップ上に現れない場合は、最小化されてタスクトレイに入っています。デスクトップにデスクトップスイートを表示するには、タスクトレイの をダブルクリックしてください。
- デスクトップスイートをパソコンにインストールしたときにデスクトップに作成されたショートカット「Motorola Desktop Suite」をダブルクリックしても、パソコンのデスクトップスイートを起動できます。

■デスクトップスイートを最小化する

デスクトップスイートは、タイトルバーの右上にある をクリックすると最小化できます。デスクトップにデスクトップスイートを表示するには、タスクトレイの をダブルクリックしてください。

■FOMA 端末を初期化したときは

FOMA 端末の初期化を行った後、はじめてデスクトップスイートを使って FOMA 端末とパソコンの接続を確立すると、「マスタークリア」画面が表示されます。同期の設定を確認し、必要に応じて同期を行ってください。



FOMA 端末を初期化すると、FOMA 端末のデスクトップスイートの接続方法 (USB 接続ケーブル / Bluetooth 経由) も設定が初期化されます。「デスクトップスイートの接続方法を設定する」(→P20) を参照して、接続設定を再設定してから接続を行ってください。

終了する

デスクトップスイートを終了するには、次の手順で行います。

- 1 アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー) ▶ (Desktop Suite) を順にタップする

2 [切断]をタップする



USB接続の場合



Bluetooth接続の場合

FOMA 端末とパソコンの接続が切断されます。

- 表示が [切断] から [接続] に変わり、画面上部から青い矢印が消えます。
- Bluetooth 接続の場合、「Bluetooth 切断」というメッセージが表示され、 (白) または  (グレー) に変わります。

FOMA 端末のファイルをバックアップする

バックアップについて

バックアップとは、情報の消去や破損に備え、FOMA 端末の内部メモリ、または外部メモリ (TransFlash メモリカード) に保存されているデータやファイル、アプリケーションをパソコンに保存しておく機能です。バックアップを作成しておくことで、復元機能を使って FOMA 端末からバックアップした設定やファイルなどを復元することができます。

- バックアップで保存できる本 FOMA 端末の設定、ファイルの種類とフォルダ構成については、P27、P30 を参照してください。
- バックアップは、パソコンに 1～7 つまで作成できます。バックアップの数が「設定する」(→P26) で指定した数を超えると、古いものから順に削除されていきます。削除したくないバックアップがあるときには、別フォルダにコピーしてください。

設定する

バックアップを行う前に、パソコンに保存するバックアップの数とディレクトリの位置、バックアップを行う FOMA 端末のメモリのドライブを設定しておきます。

1 デスクトップスイートを起動し、 (設定) をクリックする

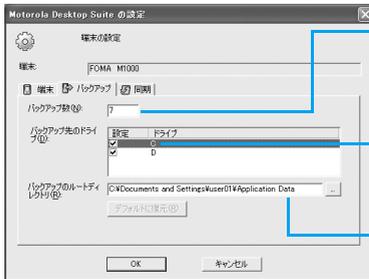


- 起動方法→P24

2 「バックアップ」タブをクリックする



3 パソコンに保存するバックアップの数とディレクトリの位置、バックアップを行うFOMA端末のメモリのドライブを指定する



パソコンに保存するバックアップの数を1～7までの数値で入力します。ここで指定した数を超えると、古いバックアップが削除されます。

バックアップを作成するFOMA端末のメモリのドライブをチェックします。

パソコンに保存するバックアップのルートディレクトリを指定します。

- FOMA端末のメモリのドライブ名は、内部メモリが「C」、外部メモリが「D」になります。

4 [OK]をクリックする

バックアップの設定が完了します。

■バックアップのルートディレクトリについて

お買い上げ時のバックアップのルートディレクトリは、Windows XPおよびWindows 2000の場合、「c:¥Documents and Settings¥<ユーザー名>¥Application Data」です。Windows 98SEおよびWindows Meの場合「c:¥WINDOWS¥Application Data」です。このフォルダには「¥Motorola¥Motorola Desktop Suite¥端末¥<端末のID>¥バックアップ」というフォルダが作成され、バックアップが保存されていきます。

なお、バックアップのルートディレクトリを変更すると、「設定する」(→P26)の画面にある「デフォルトに復元」がクリックできるようになります。クリックするとデフォルトの設定に戻ります。

■バックアップ／復元できる項目について

「バックアップ先のドライブ」の「C」のをチェックしてバックアップを作成した場合に、FOMA端末の各機能から次の項目をバックアップ／復元できます。

- FOMA端末の使用状況によっては、バックアップ／復元されない場合があります。

機能	メニューバーの項目	バックアップ／復元される項目
アプリケーションランチャー	ランチャー	フォルダ設定
	表示	表示形式
		ユーザ設定

機能	メニューバーの項目	バックアップ／復元される項目		
アプリケーションランチャー	表示	壁紙設定※ ※：背景を「なし」に設定しているときは、バックアップ／復元されません。また、「バックアップ先のドライブ」の「D」に□をチェックせずにバックアップを作成した場合、バックアップ／復元されない場合があります。		
	—	インストールされているアプリケーション※ ※：アプリケーションによっては、正常にバックアップ／復元できない場合があります。正常に起動できない場合は、一度アンインストールし、再度インストールしてください。		
ブラウザ	ブラウザ	ページを開く ブックマーク 画面メモ 履歴 ダウンロード		
	編集	ズーム ・「オートズーム」無効時の設定値 ユーザ設定		
スケジュール	編集	ユーザ設定		
カメラ	—	登録されているスケジュール		
	カメラ	カメラ設定 ・「画像サイズ」、「画質」、「最大録画時間」、「ちらつき防止」		
	—	正面カメラ／背面カメラ選択		
電話帳	—	静止画／動画撮影選択		
	編集	電話番号表示設定 登録されている電話帳データ		
コントロールパネル	コントロールパネル	グループの設定		
	「本体」タブ	—	証明書管理	
		—	電源管理	
		—	文字入力設定 ・「優先」タブの[詳細設定]の「ユーザ辞書」タブ、「定型文」タブ、「文字入力方式」タブ、「予測機能」タブ、「起動時入力モード」タブ、「マルチタップ」タブ、「変換時辞書検索」タブ、「辞書保存」タブ、「手書き」タブの設定項目	
		—	明るさ／タッチパネル設定	
		—	オート着信	
		—	サウンド	
		—	パスワード設定	
		—	ホームキーショートカット	
		—	マナーモード	
		「接続」タブ	—	ネットワーク設定 ・「mopera U」タブの[編集]の設定項目※ ※：[詳細設定]の設定項目はバックアップ／復元されません。
			—	バイトカウンタ ・[設定] の設定項目
			—	メールアカウント
			—	Bluetooth ・「設定」タブの「Bluetooth ON」と「他機器に表示」と「受信設定」
—	Desktop Suite ・「接続方法」			

機能	メニューバーの項目	バックアップ/復元される項目	
コントロールパネル			
「一般」タブ	—	国と地域	
	—	着信音選択	
	—	日時設定 ・「表示形式」タブ、「就業日」タブの設定項目	
	—	Language Selection	
メール	編集	ユーザ設定	
各アカウント	編集	メールの並び順	
		題名表示	
		メールフィルタ	
		ユーザ設定	
	受信BOX	保存されているメール	
送信BOX			
下書き			
送信済みBOX			
ホーム	ホーム	ユーザ設定 壁紙設定** ※：「バックアップ先のドライブ」の「D」の□を チェックせずにバックアップを作成した場合、 バックアップ/復元されない場合があります。 カレンダー表示 時間表示	
ミュージック	ミュージック	リピート シャッフル	
	編集	プレイリストの編集（プレイリスト表示選択時） 音楽の並び順（リスト表示選択時） ユーザ設定	
	—	保存されている音楽ファイル	
	—		
メモ帳	—	保存されているメモ帳	
ドキュメントビューア	ドキュメント	履歴 ブックマーク	
	編集	表示形式 「設定」の「設定」タブと「ファイル」タブの設定項目	
ピクチャー	設定	スライドショー間隔 一覧画面の表示方法 画像の並び順	
		編集	タイトル非表示（画像選択時）
		—	保存されている画像ファイル
	—		
SyncML	編集	設定	
各タスク	—	設定	
時計	時計	日時設定 地域設定	
	—	アラーム設定	
ToDo	編集	ToDoリストの並び順 ユーザ設定	
	—	登録されているToDoリスト	
ビデオ	編集	動画の並び順 ユーザ設定	
	—	保存されている動画ファイル	
ボイスレコーダー	—	保存されている音声メモ	
辞書	—	CD-ROM 1 からインストールした電子辞書** ※：保存先はTransFlashメモリアード	
セキュリティスキャン Light	—	パターンデータ	
movianVPN	ツール	詳細設定	
	—	登録されているポリシー	

■フォルダ構成について

「media files」を除いたフォルダ（一部のフォルダ）は、開いて操作しないでください。なお、デスクトップスイートのファイルブラウザでは、FOMA端末の内部メモリまたは外部メモリにある「system」フォルダ内のファイルは閲覧できません。

FOMA端末本体とTransFlashメモ리카ードのフォルダ構成は次に示すようになっています。

- 「media files」フォルダ内のファイルのバックアップを作成、復元できます。
- アプリケーションをインストールした場合や、各アプリケーションの使用状態などにより、フォルダが追加されたり、構成が変更されます。また、お買い上げ時には表示されないフォルダがあります。
- それぞれのフォルダは、アプリケーションによって利用されています。お客様がフォルダを指定して保存することはできません。

C: (内部メモリ) (FOMA 端末本体)	documents	agenda	: スケジュール関連のファイルが保存されています。
		cameracapture	: カメラ関連のファイルが保存されています。
		Jotter	: メモ帳関連のファイルが保存されています。
		media files	
		audio	: 音楽ファイルが保存されています。
		document	: ドキュメントファイルが保存されています。
		image	: 画像ファイルが保存されています。
		other	: 音楽/ドキュメント/画像/動画以外のファイルが保存されています。
		video	: 動画ファイルが保存されています。
		now	: ホーム画面関連のファイルが保存されています。
		Photoalbum	: 画像ビューア関連のファイルが保存されています。
		QSyncML	: SyncML 関連のファイルが保存されています。
	Ringtone	: 着信音関連のファイルが保存されています。	
	Voice	: ボイスレコーダー関連のファイルが保存されています。	
	McAfee	MDo	: セキュリティスキャン関連のファイルが保存されています。
system (ファイルブラウザでは閲覧できません。)	Apps	: アプリケーション関連のファイルが保存されています。	
	data	: システムデータ関連のファイルが保存されています。	
	fep	: キーボード関連 (辞書など) のファイルが保存されています。	
	Install	: インストール関連のファイルが保存されています。	
	Mail	: メール関連のファイルが保存されています。	

C : (内部メモリ) (FOMA端末本体)	system (ファイルブラウザでは閲覧できません。)	midi : 音楽関連のファイルが保存されています。
		MIDlets : アプリケーション (MIDlet) 関連のファイルが保存されています。
		Mtm : システム関連のファイルが保存されています。
		Schedules : スケジュール関連のファイルが保存されています。
		superquick : 「mopera U初期設定」関連のファイルが保存されています。
		SyncML : SyncML関連のファイルが保存されています。
		temp : テンポラリ (一時) ファイルが保存されています。
	Web	Saved Pages : ブラウザ関連のファイルが保存されています。
D : (外部メモリ) (TransFlashメモリアカード)	Media files	本体の「media files」と同様のフォルダが保存されています。
	System	本体の「System」と同様に、「data」「temp」などのフォルダが保存されています。
	Web	Saved Pages : ブラウザ関連のファイルが保存されています。

バックアップを行う

バックアップは次の手順で行います。

- バックアップを行う前には、FOMA端末とパソコンを接続しておいてください。→P11
- バックアップを行う前に、バックアップの設定を行っておいてください。→P26

1 デスクトップスイートを起動し、 (バックアップ)をクリックする



バックアップ完了時に再起動が行われることを伝えるメッセージが表示されます。

- 起動方法→P24

2 [はい]をクリックする



バックアップが行われます。

3 バックアップ完了のメッセージが表示されたら [OK] をクリックする



バックアップが完了し、FOMA端末が再起動します。

■ バックアップファイルの保存先

バックアップは、「BU+日付と時刻」という名前のフォルダ内に作成されます。このフォルダは、「設定する」(→P26) で指定したルートディレクトリの下に作成された「¥Motorola¥Motorola Desktop Suite¥端末¥〈端末のID〉¥バックアップ」というフォルダの下に作成されます。

お知らせ

- PIN1 コードが設定されている場合には、再起動時にPIN1 コードの入力が求められます。
- バックアップ中はセルフモードとなり、電話の着信などを受けられません。また、ロック状態となるため、外部からの操作は受け付けられなくなります。セルフモード、ロックについては、M1000取扱説明書 P159をご覧ください。
- FOMA 端末上でファイルを使用しているときにバックアップが開始されると、そのファイルのバックアップは作成されないことがあります。バックアップを行うときには、FOMA 端末上でファイルを使用しないでください。
- データやファイル、アプリケーションの種類によっては、バックアップ／復元できない場合があります。
- バックアップ中に [キャンセル] をクリックすると、バックアップは中止されます。また、バックアップ中に接続が切断されると、バックアップは失敗します。バックアップを中止したり、接続が切断されたりした場合は、FOMA 端末の再起動後、再度バックアップを行ってください。
- バックアップ中に電池切れになることを防ぐため、バックアップを行う前に電池残量が十分かどうかを確認してください。
- バックアップ中に USB 接続ケーブル (同梱品) を抜いたり、FOMA 端末の電源を切ったりしないでください。

FOMA 端末のファイルを復元する

復元について

誤って情報を消去、破損してしまった場合でも、バックアップがあれば、復元機能を使ってバックアップした設定やファイルなどを復元することができます。

- 復元では、バックアップを作成したときに選んだドライブが復元の対象となります。復元される本 FOMA 端末の設定、ファイルの種類とフォルダ構成については、P27、P30を参照してください。

復元する

復元は次の手順で行います。

- 復元を行う前には、FOMA 端末とパソコンを接続しておいてください。→P11
- 復元を行う場合には、あらかじめバックアップを作成しておいてください。バックアップがないと復元は行えません。→P31

1 デスクトップスイートを起動し、 (復元)をクリックする



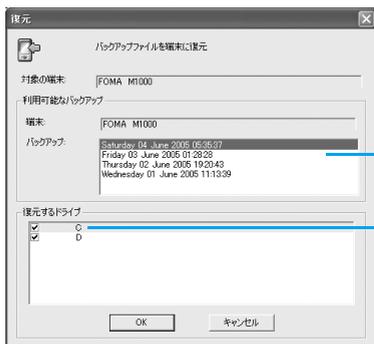
復元完了時に再起動が行われることを伝えるメッセージが表示されます。

- 起動方法→P24

2 [[はい]]をクリックする



3 復元に使用するバックアップと復元するドライブを選択する



復元に使用するバックアップをクリックして選択します。

選択したバックアップがどのドライブのものかが表示されます。ここでチェックしたドライブが復元対象のドライブになります。チェックを外すと、そのドライブは復元されません。

- FOMA 端末のメモリのドライブ名は、内部メモリが「C」、外部メモリが「D」になります。

4 [OK]をクリックする

復元が行われます。

5 復元完了のメッセージが表示されたら[OK]をクリックする



復元が完了し、FOMA 端末が再起動します。

お知らせ

- PIN1 コードが設定されている場合には、再起動時にPIN1 コードの入力が求められます。
- 復元中はセルフモードとなり、電話の着信などを受けられません。また、ロック状態となるため、外部からの操作は受け付けられなくなります。セルフモード、ロックについては、M1000取扱説明書P159をご覧ください。
- FOMA 端末上でファイルを使用しているときにバックアップが開始されると、そのファイルのバックアップは作成されないことがあります。バックアップされていなかった場合、復元を行ってもそのファイルの復元は行われません。バックアップを行うときには、FOMA 端末上でファイルを使用しないようご注意ください。
- データやファイル、アプリケーションの種類によっては、バックアップ／復元できない場合があります。
- 復元中に [キャンセル] をクリックすると、復元は中止されます。また、復元中に接続が切断されると、復元は失敗します。復元を中止したり、接続が切断されたりした場合は、FOMA 端末の再起動後、再度復元を行ってください。
- 復元中に電池切れになることを防ぐため、復元を行う前に電池残量が十分かどうかを確認してください。
- 復元中に USB 接続ケーブル (同梱品) を抜いたり、FOMA 端末の電源を切ったりしないでください。

FOMA端末とパソコンのファイルを同期する

同期とは、FOMA 端末のスケジュールや電話帳、ToDo のデータをパソコン側の PIM（スケジュールやアドレス帳などを管理するソフトウェア）で管理しているデータとやり取りして、整合性を持たせる機能です。

設定する

同期を行うには、FOMA 端末のアプリケーションとパソコン側の PIM との間での同期の設定が必要になります。同期の設定は、アプリケーション別に行います。それぞれの同期の設定については、次のページを参照してください。

- スケジュールの同期の設定→P35
- メールの同期の設定→P39
- 電話帳の同期の設定→P42

また、各 PIM と FOMA 端末の同期を行う際の注意事項については、P49 を参照してください。

スケジュールの設定

スケジュールの同期の設定は次の手順で行います。ここでは Microsoft Windows XP SP2 で動作する Microsoft Outlook 2003 の例で説明します。

- 一度接続して設定を行っておけば、その後は接続せずに設定変更できるようになります。
- 同期を行うたびに設定を行う必要はありません。必要に応じて設定変更を行ってください。

1 デスクトップスイートを起動し、 (設定) をクリックする



- 起動方法→P24

2 「同期」タブをクリックする



3 「スケジュール」を選択する

- 「設定」の をチェックすると同期が有効になります。チェックを外すと同期は無効になります。
- 設定が行われていないアプリケーションは、 がグレーになっています。



チェックしておく、FOMA端末を再接続したとき自動的に同期するようになります。

4 「設定」または「PIMの変更」をクリックする

■ はじめて設定を行う場合

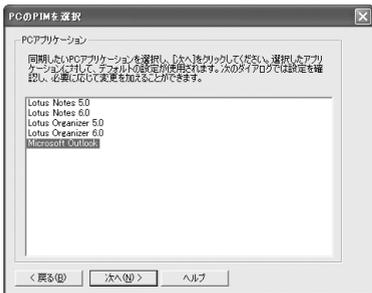
- 「設定」をクリックしてください。

■ すでに設定を行っている場合

- 同期の有効／無効を指定するだけで、その他の設定を変更しない場合は、「OK」をクリックしてデスクトップスイートのメインメニュー画面に戻ります。
- PIMの種類を変更する場合には「PIMの変更」をクリックしてください。
- PIMの種類以外の項目を設定する場合には「設定」をクリックして操作6へ進んでください。

5 使用するPIMを選択して「次へ」をクリックする

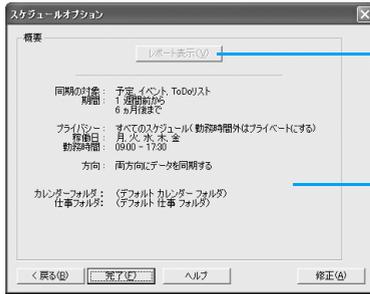
ここでは「Microsoft Outlook」を選択します。



■ すでに設定を行っている場合

- 「PIMの変更」をクリックし、PIMを選択して「次へ」をクリックすると、前回と同じPIMを選択しても別のPIMとして認識され「同期のプロパティ」(→P37操作7)の設定がすべてデフォルトの状態に戻ります。

6 [修正]をクリックする



同期を行うと、同期結果のレポートが参照できるようになります。

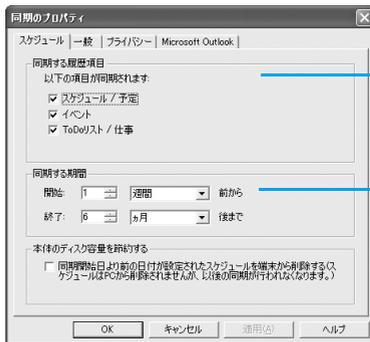
設定が確認できます。

7 設定の詳細設定を行う

スケジュールの同期に関する詳細設定を行います。設定画面と設定内容は次のとおりです。

■「スケジュール」タブの設定

同期を行う項目と期間を設定します。

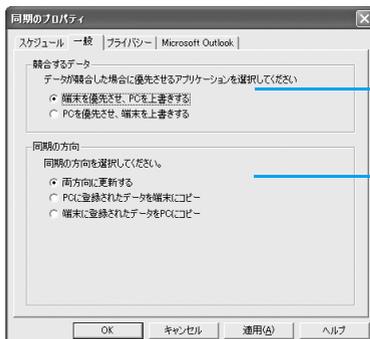


同期する項目の をチェックします。

同期する期間を設定します。

■「一般」タブの設定

同期されるデータのうち、同じ設定項目をFOMA端末とPCでそれぞれ別の設定に変更した場合（これを競合と呼びます）、どちらの変更を優先するかを設定します。また、同期の方向を設定して、データを更新する側とされる側をあらかじめ決めておくこともできます。



データが競合した場合にFOMA端末またはパソコンのどちらのデータを他方に上書きするかを設定します。

同期するときにパソコンまたはFOMA端末のどちらのデータを他方にコピーするかを設定します。「 両方向に更新する」を選択した場合は、方向に関係なくどちらかの新しく変更されたデータが他方に同期されます*。

*：データが競合した場合のみ、「競合するデータ」の設定に従い同期されます。どちらか一方で削除/追加されたデータは、他方に同期されますのでご注意ください。

■FOMA端末のディスク容量を節約する

「同期のプロパティ」画面の「スケジュール」タブで、「本体のディスク容量を節約する」の をチェックすると、同期開始日より前の日付のスケジュールがFOMA端末から削除されるようになります。なお、この設定を行っても、パソコンのPIMからデータが削除されるようなことはありません。

メールの設定

メールの同期の設定は次の手順で行います。ここではMicrosoft Windows XP SP2で動作するMicrosoft Outlook 2003の例で説明します。

- 一度接続して設定を行っておけば、その後は接続せずに設定変更できるようになります。
- 同期を行うたびに設定を行う必要はありません。必要に応じて設定変更を行ってください。

1 デスクトップスイートを起動し、 (設定)をクリックする



- 起動方法→P24

2 「同期」タブをクリックする



3 「メール」を選択する

- 「設定」の をチェックすると同期が有効になります。チェックを外すと同期は無効になります。
- 設定が行われていないアプリケーションは、 がグレーになっています。



チェックしておくことで、FOMA端末を再接続したとき自動的に同期するようになります。

4 [設定]または[PIMの変更]をクリックする

■はじめて設定を行う場合

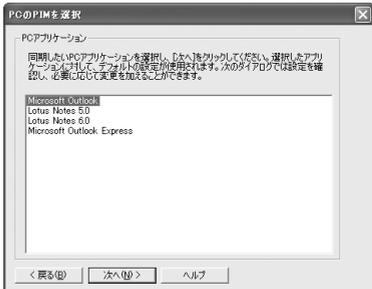
- [設定] をクリックしてください。

■すでに設定を行っている場合

- 同期の有効／無効を指定するだけで、その他の設定を変更しない場合は、[OK] をクリックしてデスクトップスイートのメインメニュー画面に戻ります。
- PIMの種類を変更する場合には [PIMの変更] をクリックしてください。
- PIMの種類以外の項目を設定する場合には [設定] をクリックして操作6へ進んでください。

5 使用するPIMを選択して[次へ]をクリックする

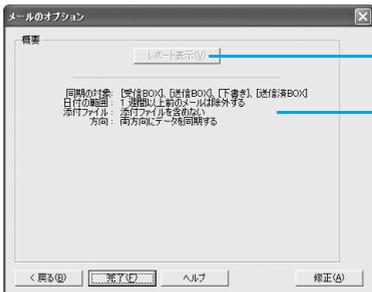
ここでは「Microsoft Outlook」を選択します。



■すでに設定を行っている場合

- [PIMの変更] をクリックし、PIMを選択して [次へ] をクリックすると、前回と同じPIMを選択しても別のPIMとして認識され「同期のプロパティ」(→P41 操作7)の設定がすべてデフォルトの状態に戻ります。

6 [修正]をクリックする



同期を行うと、同期結果のレポートが参照できるようになります。

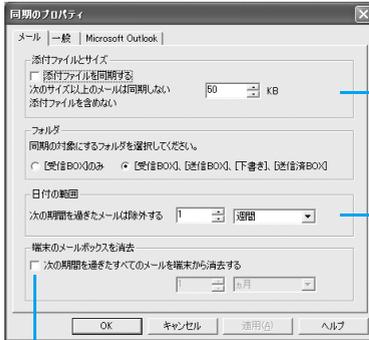
設定が確認できます。

7 設定の詳細設定を行う

メールの同期に関する詳細設定を行います。設定画面と設定内容は次のとおりです。

■「メール」タブの設定

添付ファイルの同期を行うかどうかや、同期を行うフォルダや日程を設定します。



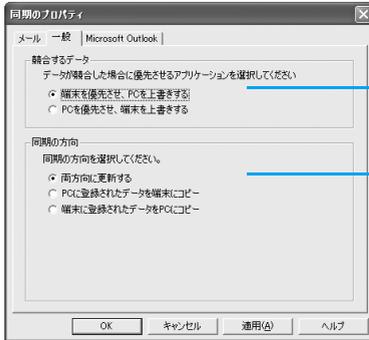
添付ファイルの同期を行う場合には をチェックします。

同期する期間を設定します。

チェックして期間を指定すると、それ以前のメールは端末から削除されます。

■「一般」タブの設定

同期されるデータのうち、同じ設定項目をFOMA端末とPCでそれぞれ別の設定に変更した場合（これを競合と呼びます）、どちらの変更を優先するかを設定します。また、同期の方向を設定して、データを更新する側とされる側をあらかじめ決めておくこともできます。



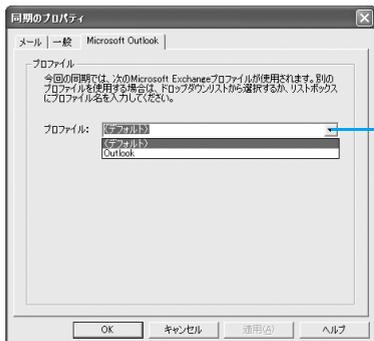
データが競合した場合にFOMA端末またはパソコンのどちらのデータを他方に上書きするかを設定します。

同期するときにパソコンまたはFOMA端末のどちらのデータを他方にコピーするかを設定します。「 両方向に更新する」を選択した場合は、方向に関係なくどちらかの新しく変更されたデータが他方に同期されます*。

※：データが競合した場合のみ、「競合するデータ」の設定に従い同期されます。どちらか一方で削除/追加されたデータは、他方に同期されますのでご注意ください。

■「Microsoft Outlook」タブの設定

PIMの同期に必要な情報を設定します。このタブの内容は、選択したPIMの種類によって異なります。



メールのプロファイルを設定します。デフォルトでは「Microsoft Exchangeプロファイル」が設定されています。▼をクリックすると「Outlook」に変更できます。

8 [OK]をクリックする

「メールのオプション」画面（→P40操作6）に戻ります。

9 [完了]をクリックする

「Motorola Desktop Suiteの設定」画面（→P39操作3）に戻ります。

10 [OK]をクリックする

デスクトップスイートのメインメニュー画面に戻ります。

電話帳の設定

電話帳の同期の設定は次の手順で行います。ここではMicrosoft Windows XP SP2で動作するMicrosoft Outlook 2003の連絡先を使った例で説明します。

- 一度接続して設定を行っておけば、その後は接続せずに設定変更できるようになります。
- 同期を行うたびに設定を行う必要はありません。必要に応じて設定変更を行ってください。

1 デスクトップスイートを起動し、⚙️(設定)をクリックする



- 起動方法→P24

2 「同期」タブをクリックする



3 「電話帳」を選択する

- 「設定」の をチェックすると同期が有効になります。チェックを外すと同期は無効になります。
- 設定が行われていないアプリケーションは、 がグレーになっています。



チェックしておく、FOMA 端末を再接続したとき自動的に同期するようになります。

4 「設定」または「PIMの変更」をクリックする

■ はじめて設定を行う場合

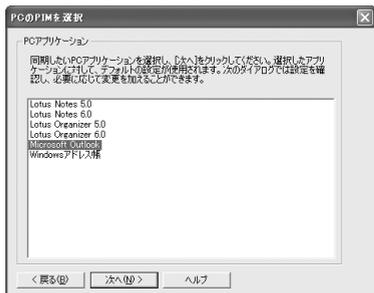
- 「設定」をクリックしてください。

■ すでに設定を行っている場合

- 同期の有効／無効を指定するだけで、その他の設定を変更しない場合は、「OK」をクリックしてデスクトップスイートのメインメニュー画面に戻ります。
- PIMの種類を変更する場合には「PIMの変更」をクリックしてください。
- PIMの種類以外の項目を設定する場合には「設定」をクリックして操作6へ進んでください。

5 使用するPIMを選択して[次へ]をクリックする

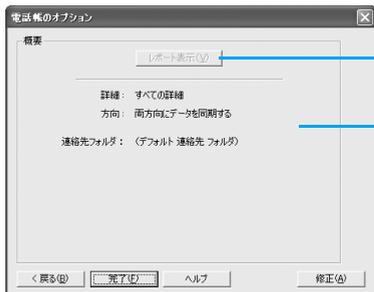
ここでは「Microsoft Outlook」を選択します。



■すでに設定を行っている場合

- [PIMの変更] をクリックし、PIM を選択して [次へ] をクリックすると、前回と同じPIMを選択しても別のPIMとして認識され「同期のプロパティ」(→P44操作7) の設定がすべてデフォルトの状態に戻ります。

6 [修正]をクリックする



同期を行うと、同期結果のレポートが参照できるようになります。

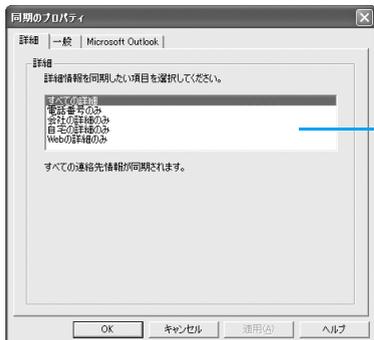
設定が確認できます。

7 設定の詳細設定を行う

電話帳の同期に関する詳細設定を行います。設定画面と設定内容は次のとおりです。

■「詳細」タブの設定

電話帳で同期する詳細情報を選択します。



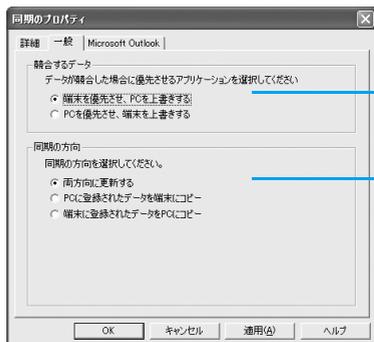
電話帳で同期する詳細情報を選択します。

同期されるFOMA端末の電話帳の詳細情報は次のとおりです。

電話番号のみ	会社の詳細のみ	自宅の詳細のみ	Webの詳細のみ
姓名	姓名	姓名	姓名
電話番号 (会社)	電話番号 (会社)	—	—
電話番号 (自宅)	—	電話番号 (自宅)	—
携帯電話	携帯電話	携帯電話	—
FAX番号 (会社)	FAX番号 (会社)	—	—
—	会社名	—	—
—	役職	—	—
—	住所 (会社)	—	—
—	—	住所 (自宅)	—
—	メール (会社)	—	メール (会社)
—	—	メール (自宅)	メール (自宅)
—	—	—	Webページのアドレス

■「一般」タブの設定

同期されるデータのうち、同じ設定項目をFOMA端末とPCでそれぞれ別の設定に変更した場合（これを競合と呼びます）、どちらの変更を優先するかを設定します。また、同期の方向を設定して、データを更新する側とされる側をあらかじめ決めておくこともできます。



データが競合した場合にFOMA端末またはパソコンのどちらのデータを他方に書き込むかを設定します。

同期するときにパソコンまたはFOMA端末のどちらのデータを他方にコピーするかを設定します。「 両方向に更新する」を選択した場合は、方向に関係なくどちらかの新しく変更されたデータが他方に同期されます*。

*：データが競合した場合のみ、「競合するデータ」の設定に従い同期されます。どちらか一方で削除/追加されたデータは、他方に同期されますのでご注意ください。

■「Microsoft Outlook」タブの設定

PIMの同期に必要な情報を設定します。このタブの内容は、選択したPIMの種類によって異なります。



[...] をクリックすると「フォルダの選択」画面が表示されます。Microsoft Outlookで「連絡先」を保存しているフォルダを選択します。

メールのプロファイルが変更できます。デフォルトでは「Microsoft Exchange プロファイル」が設定されています。

8 [OK]をクリックする

「電話帳のオプション」画面（→P44 操作6）に戻ります。

9 [完了]をクリックする

「Motorola Desktop Suiteの設定」画面（→P43操作3）に戻ります。

10 [OK]をクリックする

デスクトップスイートのメインメニュー画面に戻ります。

■同期の結果が異なる場合には

両方向にデータを同期する場合、FOMA端末の電話帳とパソコン側のPIMでデータの持ち方が異なると、データが重複して作成されたり、データの記入される位置が異なったりすることがあります。

このような結果が予測される場合は、実際に同期を行う前に件数の少ないデータで何度かテストすることをおすすめします。その結果に応じて、同期する項目を変更したり、同期を行う方法を一方から行うように設定したりするなどして、同期の設定を工夫して整合性をとるようにしてください。

同期する

パソコン側のソフトウェアで対応していない項目や、各PIMの設定、FOMA 端末の使用状況などによっては、同期の際にデータが転送されない場合があります。

FOMA 端末用のアプリケーションとパソコン用のアプリケーションでは、データの同期が行えます。同期では、変更内容を両方向で更新し合ったり、一方の変更を他方へコピーしたりすることができます。

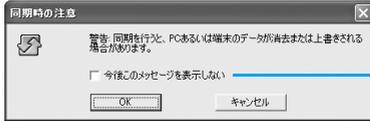
- 同期を行う場合には、あらかじめ同期を行うアプリケーションの設定を行ってください。→P35
- 各PIMとFOMA 端末の同期を行う際の注意事項については、P49を参照してください。

1 デスクトップスイートを起動し、 (同期)をクリックする



- 起動方法→P24

2 同期時の注意を確認して[OK]をクリックする



チェックしておく、次回から表示されなくなります。

同期が開始されます。

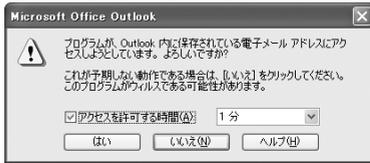


同期が完了すると「同期の結果」画面が表示されます。

- 途中で停止する場合には [停止] をクリックします。

■ Microsoft Outlookと同期する場合

PIMにMicrosoft Outlookを指定した場合、電子メールアドレスに関する同期が行われると、次のようなメッセージが数回表示されることがあります。その場合は「アクセスを許可する時間」のをチェックして時間を指定し、[はい] をクリックしてください。



3 「ログを表示」をクリックする



同期のレポートが表示されます。



追加や削除、変更、一致した項目があると表示されます。



クリックすると内容が確認できます。

4 「ファイル」▶「終了」を順にクリックする



同期のレポートが閉じます。

5 「同期の結果」画面の[OK]をクリックする

「同期の結果」画面が閉じます。

■アプリケーションの同期のログ

同期のレポートは、同期が終了したときに表示される「同期の結果」画面から表示できますが、アプリケーションごとの同期のログは、「スケジュールオプション」画面、「メールのオプション」画面、「電話帳のオプション」画面から [レポート表示] をクリックしても表示できます。

- 「スケジュールオプション」画面→P37
- 「メールのオプション」画面→P40
- 「電話帳のオプション」画面→P44

レポートは、最新のものだけが表示されます。印刷したり名前を付けたりして保存しておくことをおすすめします。

■PIM「スケジュール」を同期する際のご注意

Lotus Notesをご利用の場合

- Lotus Notesの「カレンダー」で「記念日」を選択して設定した内容は、FOMA端末に同期されません。
- Lotus Notesの「カレンダー」で「会議」「予定」「確認」を選択した場合はFOMA端末「スケジュール」の「予定」として、「イベント」を選択した場合は「終日」として同期されます。

■PIM「メール」を同期する際のご注意

- 1回目にメールの同期を行うと、FOMA端末には、接続されたパソコンに登録されている「コンピュータ名」が新規メールアカウントとして登録され、FOMA端末で直接受信した通常のメールと区別されます。このとき同期が行われるのは、「同期のプロパティ」画面（→P41操作7）の「メール」タブの「フォルダ」で選択したフォルダ内にあるメールになります。2回目以降の同期では、この新規メールアカウント内のメールのみ同期が行われます。
- 新規メールアカウント内では、メールを返信するための下書きメールや新規メールの作成、保存はできませんが送受信は行えません。
- FOMA端末で直接受信したメールはパソコン側のソフトウェアに同期されません。
- 「同期のプロパティ」画面（→P41操作7）の「メール」タブの「フォルダ」で「 [受信BOX]」、[送信BOX]、[下書き]、[送信済BOX]」を選択した場合は、FOMA端末「メール」からパソコン側のソフトウェアへは、新規メールアカウント内の「送信BOX」「下書き」に新しく作成、保存したメールが同期されます。

Microsoft Outlookをご利用の場合

- Microsoft Outlookでアクセス制限付きメールを同期すると、FOMA端末では「message.rpmsg」というファイルが添付され、メール本文は次の文章に置き換わります。「アクセス制限されたメッセージを受信しました。内容を表示するには、アイテムを開いてください。」
- Microsoft Outlookの「メール」を同期する場合は、FOMA端末の「送信BOX」に保存してあるメールは、いったんMicrosoft Outlookの「送信トレイ」に同期されますが、Microsoft Outlookの設定によってはすぐに送信されます。送信しない場合は「下書き」へ保存してから同期を行ってください。また、FOMA端末の「送信BOX」に保存されていたメールは、1回目の同期後は「送信BOX」に残ります。

Microsoft Outlook Expressをご利用の場合

- Microsoft Outlook Express5.0を同期した場合は、FOMA端末で日本語が正しく表示されない場合があります。Microsoft Outlook Express 6.0以上のご使用を推奨します。
- Microsoft Outlook Expressは、「受信トレイ」のみ同期されます。

Lotus Notesをご利用の場合

- Lotus Notesの「メール」を同期する場合は、「同期のプロパティ」画面（→P41操作7）の「Lotus Notes」タブの「サーバ」でサーバを指定します。Lotus Notesでレプリカを作成し、レプリカと同期を行う場合には、「サーバ」で「ローカル」を指定し「ファイル名」でファイルを指定します。
- Lotus Notesの「メール」を同期する場合は、FOMA端末の「送信BOX」に保存してあるメールは、同期と同時に送信されます。送信しない場合は「下書き」へ保存してから同期を行ってください。また、FOMA端末の「送信BOX」に保存されていたメールは、1回目の同期後は「送信BOX」に残ります。

■PIM「電話帳」を同期する際のご注意

- FOMAカードに保存された電話帳は、パソコン側のソフトウェアと同期をとることはできません。FOMAカード内の電話帳は、本体メモリにコピーしてから同期を行ってください。

■「ToDo」を同期する際のご注意

- パソコン側のソフトウェアの「タスク」（ソフトウェアによって名称が異なります）の同期を行うには、「同期」タブ（→P36操作3）で「スケジュール」を選択し、「スケジュール」タブ（→P37操作7）で「ToDoリスト／仕事」を選択します。

■各PIM共通のご注意

- FOMA 端末の各アプリケーションの編集画面を閉じてから同期を行ってください。編集画面が開いている状態で同期を行うと、正しく同期されない場合があります。

FOMA 端末にアプリケーションをインストールする

インストールについて

ゲームなどのアプリケーションを、本FOMA端末にインストールして利用することができます。インストールするアプリケーションの取得には次の方法があります。

- インターネットから取得する

インターネットに接続してホームページから対応アプリケーションをダウンロードしてインストール操作を行います。詳しくはM1000取扱説明書P229をご覧ください。

- Eメール、Bluetooth受信で取得する

Eメールに添付されたアプリケーションや、Bluetoothで受信したアプリケーションを直接タップしてインストール操作を行います。詳しくはM1000取扱説明書P281、P511をご覧ください。

- TransFlashメモ리카ードから取得する

パソコンなどを使って、あらかじめアプリケーションをTransFlashメモ리카ードに保存しておき、それをFOMA端末本体に差し込んでインストール操作を行います。TransFlashにファイルを保存する方法については、本取扱説明書「ファイルブラウザを利用する」(→P56) およびM1000取扱説明書P336をご覧ください。

- パソコンから取得する

添付のFOMA M1000用CD-ROM1から「Motorola Desktop Suite」をパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブル/Bluetoothで接続してインストール操作を行います。本取扱説明書「■添付のFOMA M1000用CD-ROM1からファイルやデータをインストールする」(→P52) およびM1000取扱説明書P595をご覧ください。

アプリケーションを利用するにあたっての注意

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者へ不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。

インストールする

ダウンロードしたアプリケーションや、TransFlashメモ리카ードに保存されているアプリケーションをインストールして、アプリケーションを本FOMA端末で使えるようにします。

ただし、対応しているファイルでもファイルによってはインストールできなかったり、インストール後に動作しない場合があります。

インストールできる件数(目安)は、インストール後に100Kバイトになるアプリケーションをすべてインストールした場合で最大約190件^{*}までになります。

^{*}: アプリケーションの大きさや、他のアプリケーションによるメモリ使用状況により変動します。

■証明書がないアプリケーションをインストールしようとすると

証明書がない（または無効である）場合や、デジタル署名が行われていない場合、次のような警告メッセージが表示されます。



- [はい] をクリックすると、インストールを続けます。
- [いいえ] をクリックすると、操作を中止します。
- デジタル署名のあるアプリケーションでは、[詳細] をクリックすると、アプリケーションの署名の詳細を確認できます。→P55

5 インストール先のディスクを選択し、[OK]をクリックする

- この画面は、TransFlashメモリーカードが装着されている場合にのみ表示されます。表示されない場合は操作6へ進んでください。



6 インストール完了のメッセージが表示されたら[OK]をクリックする



インストールが完了します。

お知らせ

- アプリケーションによっては、インストール中に、デジタル署名や証明書が有効でないことを指摘する警告メッセージが表示されることがあります。その場合には、インストールするアプリケーションの情報を確認し、問題がないことを確認してからインストールを続行するようにしてください。

■添付のFOMA M1000用CD-ROM1からファイルやデータをインストールする

添付のFOMA M1000用CD-ROM1に収録されている壁紙や着信音、電話用スキン、電話帳用アイコン、音楽、動画、電子辞書用辞書データは、デスクトップスイートのインストール機能ではなく、M1000ユーティリティソフトからインストールします。

- あらかじめFOMA端末とパソコンをデスクトップスイートで接続した状態で操作してください。→P11
- 電子辞書用辞書データはTransFlashメモリーカードに保存されます。電子辞書用辞書データをインストールする場合は、あらかじめFOMA端末にTransFlashメモリーカードを取り付けておいてください。

1 M1000 ユーティリティソフトのメインメニュー画面を表示する

- M1000 ユーティリティソフトのメインメニュー画面の表示方法については、P7を参照してください。

2 ファイルやデータを選択してインストールする

- ・「カスタマイズ」をクリックすると、壁紙、着信音、電話用スキン、電話帳用アイコンがインストールできます。
- ・「サンプルファイル」をクリックすると、音楽（MP3 音楽ファイル）、動画（MP4 動画ファイル）がインストールできます。
- ・「アプリケーション」をクリックすると、電子辞書用辞書データがインストールできます。

■壁紙をインストールするとき

- ①「カスタマイズ」▶「壁紙」を順にクリックする
 - ・壁紙のインストール画面が表示されます。
- ②インストールするファイル▶【インストール】を順にクリックする
 - ・壁紙のインストールが開始されます。
- ③【完了】をクリックする
 - ・インストールされた壁紙は、ピクチャーで確認できます。詳しくは M1000 取扱説明書 P308 をご覧ください。

■着信音をインストールするとき

- ①「カスタマイズ」▶「着信音」を順にクリックする
 - ・着信音のファイル名▶を順にクリックすると、選択した着信音が試聴できます。
- ②インストールするファイル▶【インストール】を順にクリックする
 - ・着信音のインストールが開始されます。
- ③【完了】をクリックする
 - ・インストールされた着信音は、ミュージックで確認できます。詳しくは M1000 取扱説明書 P319 をご覧ください。
 - ・インストールした着信音を電話やメールの着信音に設定する場合は、あらかじめ着信音として登録してから設定を行ってください。詳しくは M1000 取扱説明書 P131 をご覧ください。

■電話用スキンをインストールするとき

- ①「カスタマイズ」▶「電話用スキン」を順にクリックする
 - ・電話用スキンのインストール画面が表示されます。
- ②インストールするファイル▶【インストール】を順にクリックする
 - ・電話用スキンのインストールが開始されます。
- ③【完了】をクリックする
 - ・インストールされた電話用スキンは、スキンの設定で確認できます。詳しくは M1000 取扱説明書 P148 をご覧ください。

■電話帳用アイコンをインストールするとき

- ①「カスタマイズ」▶「電話帳用アイコン」を順にクリックする
 - ・電話帳用アイコンのインストール画面が表示されます。
- ②インストールするファイル▶【インストール】を順にクリックする
 - ・電話帳用アイコンのインストールが開始されます。
- ③【完了】をクリックする
 - ・インストールされた電話帳用アイコンは、ピクチャーで確認できます。詳しくは M1000 取扱説明書 P308 をご覧ください。

■音楽をインストールするとき

- ①「サンプルファイル」▶「音楽」を順にクリックする
 - ・音楽のファイル名▶を順にクリックすると、選択した音楽が試聴できます。
- ②インストールするファイル▶【インストール】を順にクリックする
 - ・音楽のインストールが開始されます。
- ③【完了】をクリックする

- インストールされた音楽ファイルは、ミュージックで確認できます。詳しくは M1000 取扱説明書 P319 をご覧ください。

■ 動画をインストールするとき

- ① 「サンプルファイル」 ▶ 「動画」 を順にクリックする
- ② インストールするファイル ▶ 「インストール」 を順にクリックする
 - 動画のインストールが開始されます。
- ③ 「完了」 をクリックする

- インストールされた動画ファイルは、ビデオで確認できます。詳しくは M1000 取扱説明書 P314 をご覧ください。

■ 電子辞書用辞書データをインストールするとき

- FOMA 端末に TransFlash メモリカードが取り付けられていない場合は、電子辞書用辞書データをインストールできません。
- 電子辞書用辞書データをインストールするには、TransFlash メモリカードに 10M バイト以上の空き容量が必要です。

- ① 「アプリケーション」 をクリックする
- ② 「電子辞書用辞書データ」 をクリックし、インストールの確認画面で 「同意します」 をクリックする



- インストールの確認画面で 「同意しません」 をクリックすると、操作を中止します。

- ③ 「デバイスを選択」 欄の 「Motorola M1000」 をクリックする



- 「閉じる」 をクリックすると、操作を中止します。

- ④ 「インストール」 をクリックする



- ⑤ 「はい」 をクリックする



- 「いいえ」 をクリックすると、操作を中止します。
- 「詳細」 をクリックすると、アプリケーションの署名の詳細を確認できます。→ P55

⑥ [OK] をクリックする



電子辞書用辞書データがインストールされます。

■インストールしたファイルやデータをアンインストールする

インストールしたファイルやデータは次の方法でアンインストールできます。

- メモリマネージャを利用して削除する（電話用スキン以外）
- ファイルブラウザを利用して削除する（電子辞書用辞書データ以外）
- アプリケーションランチャーを利用して削除する（電子辞書用辞書データのみ）

■メモリマネージャで削除するとき

電話用スキンと電子辞書用辞書データ以外のファイルをメモリマネージャで削除する場合は、メモリマネージャ画面で [ファイル] をタップし、ファイル画面で「場所」欄と「種類」欄を選択し、ファイルを選んで [削除] をタップします。削除可能なファイルとその種類は次の表のとおりです。詳しくはM1000取扱説明書P346をご覧ください。

ファイル	ファイルの種類
壁紙、電話帳用アイコン	画像
着信音、音楽	オーディオ
動画	動画

■ファイルブラウザで削除するとき

電子辞書用辞書データ以外のファイルは、ファイルブラウザを利用して削除できます。以下のフォルダに保存されているファイルを削除してください。→P56

種類	内部メモリ
壁紙、電話帳用アイコン	C:\documents\media files\image\unfiled
着信音、音楽	C:\documents\media files\audio\unfiled
電話用スキン	C:\documents\media files\other\phone skins
動画	C:\documents\media files\video\unfiled

■電子辞書用辞書データをアンインストールするとき

電子辞書用辞書データは、FOMA端末のアプリケーションランチャー、またはメモリマネージャからアンインストールします。

- アプリケーションランチャーからアンインストールする場合は、アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー) ▶メニューバーの「ランチャー」▶「アンインストール」を順にタップし、アンインストール画面で「eDict Data」▶「アンインストール」を順にタップし、ソフトウェアのアンインストール画面で [はい] をタップします。詳しくはM1000取扱説明書P411をご覧ください。
- 電子辞書用辞書データは、メモリマネージャからアンインストールすることもできます。メモリマネージャ画面で [アンインストール] をタップし、アンインストール画面で「eDict Data」▶ [アンインストール] を順にタップし、ソフトウェアのアンインストール画面で [はい] をタップします。

■デジタル署名の確認

デジタル署名のあるアプリケーションでは、セットアップ画面で [詳細] をクリックすると、アプリケーションの署名の詳細を確認できます。アプリケーションの署名とは、アプリケー

ションにされているサインのようなもので、作成者の名前や有効日、有効期限などが記載されたものです。アプリケーションをバージョンアップするときや、第三者による不正なアプリケーションの書き換えなどを防ぐために使われ、お客様による修正や削除はできません。



ファイルブラウザを利用する

ファイルブラウザを使うと、FOMA端末のメモリのファイルをパソコンと同じように表示、コピー、名前の変更、削除ができます。

ファイルブラウザを起動する

ファイルブラウザの起動は、次の手順で行います。

<例：FOMA端末の内部メモリを表示するとき>

- 1 デスクトップスイートを起動し、 (ファイルブラウザ)をクリックする



ファイルブラウザが起動します。

- 起動方法→P24

- 2 「C:」ディスクのアイコンをダブルクリックする



メモリに保存されているフォルダが展開されます。

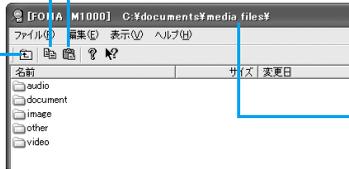
- 3 「documents」フォルダをダブルクリックする

4 「media files」フォルダをダブルクリックする

「C:¥documents¥media files¥」フォルダの内容が表示されます。

クリックすると選択中のファイルをクリックすると他のフォルダやディスクでコピーしたファイルをクリップボードへコピーします。

クリックすると上の階層へ移動します。



表示中のフォルダのディレクトリパスが表示されます。

FOMA端末のメモリのフォルダ構成は次のようになっています。ファイルのコピーを行う際の参考にしてください。

次のフォルダ以外は、開いて操作しないでください。

データ／ファイルの種類	コピー先	フォルダ名
オーディオ	FOMA 端末	c:¥documents¥media files¥audio¥unfiled ^{※1}
	TransFlash メモリカード	d:¥media files¥audio¥unfiled ^{※1}
文書	FOMA 端末	c:¥documents¥media files¥document¥unfiled ^{※1}
	TransFlash メモリカード	d:¥media files¥document¥unfiled ^{※1}
画像	FOMA 端末	c:¥documents¥media files¥image¥unfiled ^{※1}
	TransFlash メモリカード	d:¥media files¥image¥unfiled ^{※1}
その他	FOMA 端末	c:¥documents¥media files¥other¥(サブフォルダ) ^{※2}
	TransFlash メモリカード	d:¥media files¥other¥(サブフォルダ) ^{※2}
動画	FOMA 端末	c:¥documents¥media files¥video¥unfiled ^{※1}
	TransFlash メモリカード	d:¥media files¥video¥unfiled ^{※1}

※1：フォルダが追加されている場合はそのフォルダ名も表示され、コピー先に指定できます。

※2：フォルダが追加されていない場合は表示されません。

- 「unfiled」フォルダには、FOMA 端末では「マイフォルダ」のフォルダに保存されているデータ／ファイルが表示されます。
- TransFlash メモリカードの場合は、ルートディレクトリ (D:¥) を指定してもコピーしたデータ／ファイルを利用できます。
- 上記に記載のフォルダ以外を指定してデータ／ファイルのコピーや削除を行うと、FOMA 端末の故障などの不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- ファイルブラウザでは、FOMA 端末の内部メモリにある「system」フォルダ内のファイルは閲覧できません。
- ファイル整理などのためにフォルダを作成する場合は、「audio」フォルダ／「document」フォルダ／「image」フォルダ／「video」フォルダ内に新しくフォルダを作成してファイルをコピーするか、各フォルダの下にある「unfiled」フォルダに直接ファイルをコピーしてください。「audio」フォルダ／「document」フォルダ／「image」フォルダ／「video」フォルダ内に直接ファイルをコピーするとファイルが認識できない場合があります。

■デスクトップのショートカットから起動する

ファイルブラウザは、デスクトップスイートをインストールしたときに作成された2つのショートカットから起動することもできます。



FOMA 端末の本体メモリへのショートカット

ダブルクリックすると、FOMA 端末の内部（本体）メモリの内容（C:¥）が表示されます。



FOMA 端末の外部メモリへのショートカット

ダブルクリックすると、FOMA 端末の外部メモリ（TransFlash メモリカード）の内容（D:¥）が表示されます。

お知らせ

- FOMA 端末へのデータ／ファイルのコピーを行う場合、または FOMA 端末のデータ／ファイルを削除する場合は、「C:¥documents¥media files」内のフォルダを指定して行ってください。それ以外のフォルダを指定してデータ／ファイルのコピーや削除を行うと、FOMA 端末の故障などの不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。

ファイルのコピー／削除／名前の変更

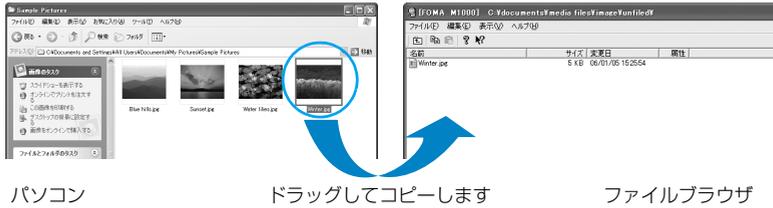
ファイルブラウザでは、マウスを使ってファイルを簡単に操作できます。パソコンと FOMA 端末の間では、ファイルのコピー、削除、名前の変更が行えます。

パソコンから FOMA 端末へコピーする

パソコンから FOMA 端末へファイルをコピーするには、コピーするファイルをファイルブラウザの欄内にドラッグします。

1 ファイルブラウザでコピー先のフォルダを開く

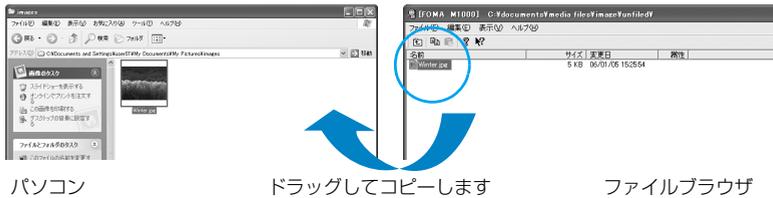
2 コピーするファイルをドラッグしてファイルブラウザの欄内でドロップする



FOMA 端末からパソコンへコピーする

FOMA 端末からパソコンへファイルをコピーするには、コピーするファイルをファイルブラウザの欄内にドラッグします。

- 1 ファイルブラウザでコピー元のファイルがあるフォルダを開く
- 2 コピーするファイルをコピー先までドラッグアンドドロップする



ファイル名を変更する

ファイルブラウザでファイルを選択して右クリックすると、操作できる内容が表示されたメニューが表示されます。ファイル名を変更する場合は、次の操作を行います。

- 1 ファイルブラウザでファイル名を変更するファイルがあるフォルダを開く
- 2 ファイルを選んで右クリックし、「ファイル名の変更」を選択する



3 ファイル名を入力する



ファイル名が変更されます。

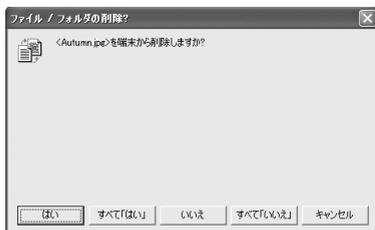
ファイルを削除する

ファイルブラウザでファイルを選択して右クリックすると、操作できる内容が表示されたメニューが表示されます。ファイルを削除する場合は、次の操作を行います。

1 ファイルを選んで右クリックし、「ファイルの削除」を選択する



2 [はい]をクリックする



ファイルが削除されます。

■ ファイルの移動

ファイルブラウザでは、ファイルを直接移動することはできません。FOMA端末とパソコンの間でファイルを移動するには、いったんファイルをコピーして、不要となったファイルを削除してください。

■FOMA端末の内部メモリと外部メモリ

デスクトップに作成されている「FOMA端末の本体メモリーへのショートカット」アイコンと、「FOMA端末の外部メモリーへのショートカット」アイコンをダブルクリックすると、それぞれ別のファイルブラウザが起動します。これらのウィンドウ上にあるファイルは、互いにドラッグアンドドロップしてコピーすることができます。



お知らせ

- FOMA 端末へのデータ／ファイルのコピーを行う場合、または FOMA 端末のデータ／ファイルを削除する場合は、「C:¥documents¥media files」内のフォルダを指定して行ってください。それ以外のフォルダを指定してデータ／ファイルのコピーや削除を行うと、FOMA 端末の故障などの不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。

その他の設定を行う

「Motorola Desktop Suiteの設定」の「端末」タブに表示されている内容は、デスクトップスイートとの接続を行うFOMA端末の情報が表示されます。

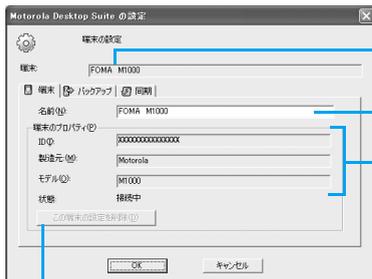
1 デスクトップスイートを起動し、 (設定) をクリックする



「Motorola Desktop Suiteの設定」の「端末」タブが表示されます。

- 起動方法→P24

2 [OK] をクリックする



デスクトップスイートで使うFOMA 端末の名前が表示されています。

FOMA 端末の名前が自由に変更できます。

FOMA 端末の情報が表示されます。

パソコンとFOMA 端末が接続されていない状態のとき、クリックできるようになります。クリックすると、設定したすべての内容が削除されます。

デスクトップスイートのメインメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- パソコンと FOMA 端末が接続されていない状態で [この端末の設定を削除] をクリックすると、デスクトップスイートで設定した情報がすべて削除され、デフォルトの状態に戻ります。

索引

あ	
アプリケーション	50
インストールする	50
インストールできる件数	
インターネットから取得する	50
対応アプリケーション	51
パソコンから取得する	50
Eメール、Bluetooth受信で取得する	50
TransFlash メモリカードから取得する	50
アンインストール	
音楽	55
壁紙	55
着信音	55
通信設定ファイル (ドライブ)	15
デスクトップスイート	10
電子辞書用辞書データ	55
電話帳用アイコン	55
電話用スキン	55
動画	55
mRouter	10
Symbian 接続ランタイム	
インストール	10
アプリケーション	50
音楽	53
壁紙	53
着信音	53
通信設定ファイル (ドライブ)	13
デスクトップスイート	7
電子辞書用辞書データ	54
添付の CD-ROM1 からインストールする	52
電話帳用アイコン	53
電話用スキン	53
動画	54
mRouter	9
Symbian 接続ランタイム	9
オーディオの保存フォルダ	
	57
か	
画像の保存フォルダ	57
カレンダーフォルダ	38
競合するデータの対処	
スケジュール	37
電話帳	45
メール	41
コピー	
パソコンから FOMA 端末へ	58
FOMA 端末からパソコンへ	59

さ	
仕事フォルダ	38
証明書	52
ショートカット	
FOMA 端末の外部メモリー	9
FOMA 端末の本体メモリー	9
Motorola Desktop Suite	9
スケジュールの同期	
端末の設定時に自動的に同期する	36
同期の設定	35
プライバシー	38
設定	
スケジュールの同期	35
端末の設定を削除	62
電話帳の同期	42
バックアップ	26
メールの同期	39
FOMA 端末の名前	62
セルフモード	32、34
その他の保存フォルダ	57
た	
ダウンロード	6
卓上ホルダの使いかた	13
タスクトレイ	21
端末の再起動時に自動的に同期する	
スケジュール	36
電話帳	43
メール	39
端末のメールボックスを消去	41
通信設定ファイル (ドライブ)	
アンインストール	15
インストール	13
インストールの確認	14
デジタル署名	55
デスクトップスイート	
アンインストール	10
インストール	7
起動する	24
最小化する	25
終了する	25
ダウンロード	6
動作環境	6
特徴	4
添付ファイルを同期する	41
電話帳の同期	
端末の再起動時に自動的に同期する	43
同期の設定	42
動画の保存フォルダ	57
同期	
重複データが作成される場合	46
スケジュールの同期	35

スケジュールの同期の方向	37
スケジュールの同期のレポート	
添付ファイルを同期する	41
電話帳の同期	42
電話帳の同期の方向	45
電話帳の同期のレポート	
	44
同期のログ	48
同期を行う	46
同期を停止する	47
プライバシーの設定	38
古いスケジュールを削除する	39
本体のディスク容量を節約する	39
メールの同期	39
メールの同期の方向	41
メールの同期のレポート	
	40
レポートを保存する	48
ドラッグアンドドロップでコピーする	59

は	
パソコンと接続する	
FOMA 端末と Bluetooth 接続する	17
FOMA 端末と USB 接続する	11
バックアップ	
設定を行う	26
バックアップの保存先	32
バックアップを行う	31
ルートディレクトリ	
	27、32
ファイル	
コピーする	58
削除する	60
名前の変更	59
ファイルブラウザ	
起動する	56
ショートカットから起動する	58
ファイル名を変更する	59
ファイルを移動する	60
ファイルをコピーする	58
ファイルを削除する	60
フォルダ構成	30
復元	
ドライブを選択する	34
バックアップの選択	34
バックアップの保存先	32
復元を行う	33
文書の保存フォルダ	57

ま

メールの同期

端末の再起動時に自動的に同期する	39
同期の設定	39
メールのプロファイル	
スケジュール	38
電話帳	45
メール	42

や

予定表フォルダ	38
---------	----

ら

リリースボタン	12
レポート	
スケジュールの同期のログ	37
電話帳の同期のログ	44
同期のログ	48
メールの同期のログ	40
連絡先フォルダ	45
ログ	
スケジュールの同期	48
電話帳の同期	48
同期のログ	48
メールの同期	48
ロック	32、34

英数字・記号

Bluetooth 接続

起動する	19、24
接続方法を設定する	20
接続を受けて登録する	18
切断する	25
パソコンと接続する	17
パソコンに登録する	17
Bluetooth ON	19
FOMA 端末のディスク容量を節約する	39
FOMA 端末の名前	62
.jad	51
JAD(Java Application Descriptor)	51
.jar	51
JAR(Java Archive)	51
mRouter	21
アンインストール	10
インストール	9
設定	21
PIM の選択	
スケジュール	36
電話帳	44
メール	40
PIN1 コード	32、34
.sis	51
SIS(Symbian Installation)	51
Symbian 接続ランタイム	
アンインストール	10
インストール	9
Symbian OS	51
USB コネクタ	12
USB 接続	
起動する	24
接続方法を設定する	20

切断する	25
卓上ホルダを使う	13
ドライバのアンインストール	15
ドライバのインストール	13
パソコンと接続する	11
mRouter を設定する	21
USB 接続ケーブル (同梱品)	11
USB 端子	12

